文部省科研費申請の状況、昨年より七％増加

来年度の文部省の科研費の申請は、十一月八日に部局締切を行い、十二月一日に文部省に提出された。部局等別の申請状況は表のとおりで、全体で延べ一四三〇件と昨年に比べ、九十六人（七％）増加している。十月末現在の広大の助手以上の申請有資格者は一六五九人で、なかには全く申請していない教官もいる勘定になる。

部局等別の科学研究費補助金の申請件数

部局等＼年度	平成５年度	平成６年度
総合科学部	149（件）	167（件）
文学部	39	42
教育学部	57	61
学校教育学部	33	30
法学部	11	13
経済学部	6	5
理学部	218	244
医学部	179	194
医学部附属病院	75	84
歯学部	105	111
歯学部附属病院	45	46
工学部	270	290
生物生産学部	67	65
原爆放射能医学研究所	56	51
その他	26	27
合計	1,336	1,430

（庶務部庶務課学事係調べ）

オーストラリア学長協会の大学調査団が来学

意見交換をする調査団一行（於　工学部小会議室）

昨年国立大学協会とオーストラリア大学長協会（ＡＶＣＣ）との間に学術交流の包括協定が結ばれ、相互に大学調査団を派遣した。二年目の今年、日本からは、学長や教官等十名が七月末から二週間にわたり、豪州の十大学を訪問した（団長　江崎筑波大学長）。

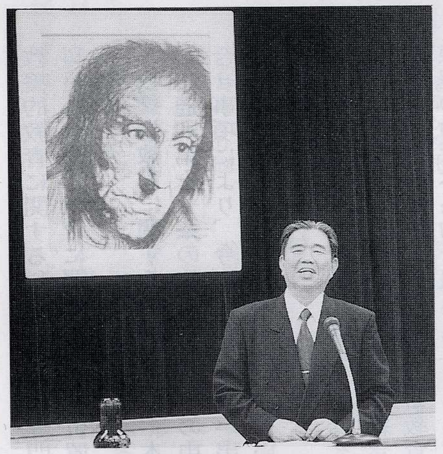
オーストラリアからは十月二十五日、理工系の学部長を中心とする九人（代表オーストラリア大学長協会国際交流部長ジョン・スカット氏）が来日し、十一月九日までの約二週間全国八大学を訪問した。広大には十月二十七日に来学し、西条キャンパスの視察の後、広島市内で学長主催のレセプションが催された。

工学部、ミシガン大学工学部と学部間交流を協定

工学部は、学生や教官等の相互派遣、共同研究、合同セミナーの実施などの交流事業を推進することを目的として、アメリカ合衆国ミシガン大学工学部と部局間国際交流協定を十月二十五日締結した。

この協定調印は、工学部長室で行われ、佐々木工学部長とミシガン大学副学部長が、和文と英文からなる協定書それぞれ二通に署名し、発効した。

第二回「ペスタロッチー教育賞」受賞者決まる


講演中の谷昌恒氏

スイスの教育者ハインリヒ・ペスタロッチー（一七四六～一八二七）を記念して設けられた第二回ペスタロッチー教育賞の受賞者は、北海道家庭学校校長の谷昌恒（たに・まさつね）氏に決定した。

表彰式は、十一月十九日㈮午後一時から教育学部大講義室で行われ、引き続き、同氏による受賞講演があった。

谷昌恒氏はこの講演のなかで、困難な環境にある少年たちとともに生活する苦心と喜びについて語り、満場の聴衆の心を強く打った。

事務職員　永年勤続者を表彰

平成五年度文部省永年勤続者表彰に係る文部大臣表彰状の伝達式及び広島大学事務職員の永年勤続表彰式が、十一月二十二日に開かれ、次の三十八名に、学長から表彰状及び記念品が授与された。

大臣表彰＝勤続三十年、大臣発令十年以上
学長表彰＝勤続二十年、本学勤務十年以上

（被授与者名）

◉大臣表彰
（施設部）
了戒　正昭
（学生部）
刈屋　悌二
（理学部）
佐藤　斌

◉学長表彰
（庶務部）
馬場　一三
近藤　尚美
（経理部）
原　稔継
（施設部）
住岡　悦子
水戸　芳郎
大久保明徳
（総合科学部）
森田　章
島田　文隆
中村　猛
（教育学部）
松村いく子
（法学部・経済学部）
空　俊雄
田邊　啓次
（理学部）
和根山幹生

村上　司
中川　純子
青山　恵子
小林千賀子
（医学部）
宮地　弘
（医学部附属病院）
畑村　啓子
谷口　金吾
塩津　玲子
重岡　秀子
岡光　京子
馬場美恵子
（歯学部）
竹村　康昭
松尾　宗弘
（歯学部附属病院）
木村規美子
山手　里枝
深川　文香
恵飛須律美
（工学部）
藤井　律夫
山田　章弘
下川　久義
古寺千鶴子
（生物生産学部）
松本　勝士

西条キャンパスで初の大学祭開催

十月二十九日㈮から三十一日㈰の三日間大学祭が開催された。

二十九日は、生憎の雨にたたられたが、三十一日は雨も上がり日曜日ということもあって、留学生や家族連れまた近隣の小、中学生などが思い思いに賀茂台地の秋の一日を楽しんでいた。

今回は、各学部で趣向をこらした企画が立てられ、研究室の公開などとともにコンサートや体力診断など、また学生側の企画としては、サークルの展示発表や演奏、バザーなど盛り沢山の内容で開催された。

模擬店は、総合科学部西側の通り三百メートルにわたり四十以上の天幕が立てられ、さながら一大バザールが出現したようであった。原田学長も三十日姿をみせ、学生のバザーに参加した。

総合科学部中広場（通称スペイン広場）ではＤＪブースが設置され、フォークダンスや附属幼稚園ＰＴＡのバザーなど終日にぎわいをみせた。

にぎわいをみせたバザー会場

学生部の調べによると、三日間で延べ約一万人の参加者があった。そのうち学部企画では理学部が八百人を集めたのが最高で、他は数百人程度。医学部が主催した講演会には二十人の参加者しかなかった。

学内外への広報をいかに効果的に行うか、今後に課題を残したといえよう。

新しい大学祭が地域の祭として根づいていくことを期待したい。

教育学部音楽科と学長とのジョイント・コンサート開かれる

教育学部音楽科のオーケストラをバックに熱唱をする原田学長

教育文化週間の十一月五日㈮、東広島市中央公民館大ホールで教育学部音楽科の第一回コンサートが開催された。

文化活動を通して、大学と市民の交流を深めようと東広島市中央公民館と教育学部音楽科が企画したもの。コンサートには、原田康夫学長も出演し、得意の「パッショーネ」と「オーソレミオ」を披露し、会場に詰めかけた千百名の聴衆の盛んな拍手を浴びていた。

学生の交通事故あいかわらず多発

西条キャンパスだけでなく、全学的に学生の交通事故が増加している。九月以降だけで、

▼九月十八日　大学院二年生の車が溝に転落、軽症
▼同二十三日　学部一年生が自動車事故で骨折（西条地区）
▼同二十三日　学部一年生、自動車事故で骨折（　〃　）
▼同二十四日　大学院二年生（留学生）がバイクで事故、重傷（広島市内）
▼十月四日　学部一年生がバイクで事故（広島市内）

と立て続けに五件も起きている。

他にも西条地区で、学部二年生が自転車の高校生をはねて死亡させるという重大事故が一件。

医・歯学部では、罰金刑以上の前歴がある場合、医師免許、歯科医師免許の欠格条項に触れることがあり、事故を起こした場合、届出をしないと、上申書による救済措置を取らない旨、学生と親に告知している。

国家公務員法、学校教育法などにも同様の規定があり、特に禁固刑以上の前歴があるものは教員の絶対的欠格条項になっているが、他の学部では同様の告知は行われていない。大学側では学生に学長告示をだし、事故の予防を呼びかけることになった。

フェニックス駅伝開催される

ケヤキ並木を駆け抜ける選手たち

恒例の第三十一回フェニックス駅伝が、十二月五日㈰、本格的に西条キャンパスで開催された。

今回は、体育会設立三十周年記念大会でもあり、一四二チーム（男子一〇五、女子三七）が、総合科学部前をスタート、ゴールとする周回コースで、総合優勝やブービー賞、アピール賞などをめざし健脚を競った。主な成績結果は次のとおり。

◉総合順位
▼男子の部
一位　広島市スーパースターズ
二位　緑翠Ａ
三位　ＦＭ会Ａ
▼女子の部
一位　水泳部Ａ
二位　カモシカ軍団PartⅧ
三位　広島大学ソフトテニス部

◉学部長賞
□文学部長賞
▼男子の部　ＭＥＴ

□教育学部長賞
▼男子の部　ＫＹＯＳＵ05234××
▼女子の部　教数04女子
□学校教育学部長賞
▼女子の部　ＭＩＲＡＣＬＥ　ＧＩＲＬＳ
□理学部長賞
▼男子の部　ンピシリンレジスタンス
□工学部長賞
▼男子の部　六講おろしＤＸ
□生物生産学部長賞
▼女子の部　ビール券の欲しい女たち

冬の五大学競技大会で優勝

第四十四回中国五大学学生競技大会冬季大会が、十一月十二日～十四日に島根大学主管により開催された。広島大学は男女合わせて十競技中五競技が一位、冬季総合点四十二・五点で優勝を達成した。夏季大会、冬季大会の合計得点も百二十点と、二位の島根大学に大差をつけ、五年連続の夏冬総合優勝を果たした。